

# 学術講演会のご案内

## 小松市・能美市・加賀市医師会

日時：平成28年6月30日（木）19：00～

会場：ルートイングランティア小松エアポート 2階鏡花の間

石川県小松市長崎町4-116-1 TEL：0761-23-7000

【情報提供】19：00～

過活動膀胱治療薬「ベタニス錠」

アステラス製薬株式会社 木村敬仁

〈総合司会〉 東野病院 副院長 東野 朗 先生

【特別講演】19：15～

〈座長〉 田谷泌尿器科医院 院長 田谷 正 先生

### 『日常における排尿障害診療のポイント』

日本大学医学部 泌尿器科学系

主任教授 高橋 悟 先生

※この講演会は石川県医師会生涯教育講演会(2単位)に該当します

※この講演会は石川県薬剤師会認定薬剤師研修制度(1単位)に該当します

※この講演会は石川県病院薬剤師会生涯研修認定制度(1単位)に該当します

※この講演会は石川県臨床内科医会(5単位)に該当します

※この講演会はカリキュラムコード(65:1単位、66:1単位)に該当します

共催：小松市医師会  
加賀市医師会  
能美市医師会  
石川県臨床内科医会  
小松能美薬剤師会  
石川県病院薬剤師会  
アステラス製薬株式会社

## 演者

日本大学医学部 泌尿器科学系 主任教授

## 高橋 悟 先生

### ご略歴:

昭和60年 3月 群馬大学医学部医学科 卒業  
昭和60年 群馬大学医学部脳神経外科  
昭和62年 東京大学 医学部附属病院泌尿器科 助手  
平成 5年 5月 東京大学 医学博士号取得  
平成 5年 米国メイヨークリニック泌尿器科 リサーチフェロー  
平成15年 東京大学 医学部附属病院泌尿器科 助教授  
平成17年 日本大学医学部 泌尿器科学講座 主任教授  
平成26年11月 副病院長

### 主な所属学会:

日本泌尿器科学会 代議員  
日本排尿機能学会 理事 など



### 『日常における排尿障害診療のポイント』

男女ともに加齢により様々な下部尿路症状が出現する。例えば尿意切迫感のために頻尿、切迫性尿失禁を認める病態を過活動膀胱といい、40歳以上の男女の12.4%に認める。しかし下部尿路の解剖学的性差は大きく、男性では過活動膀胱に加えて前立腺肥大症による排尿症状(尿の出の悪さ)も多い。第一選択薬である $\alpha_1$ ブロッカーは排尿症状のみならず、蓄尿症状にも有効であり、さらに抗ムスカリン薬の併用で排尿症状の増悪を回避しながら、より積極的に過活動膀胱を治療できる。さらに最近新しい過活動膀胱治療薬として $\beta_3$ 作動薬ミラベグロンが登場し、排尿症状の増悪をあまり気にせず男性の過活動膀胱を治療できる新たな選択肢が加わった。一方、前立腺体積が大きい症例は肥大の進行につれて将来尿閉や手術が必要になるリスクが高いこと、また5 $\alpha$ -還元酵素阻害薬デュタステリドの併用によりそのリスクが減少することが明らかにされた。さらに2014年には、PDE5阻害薬タダラフィルが新しい前立腺肥大症治療薬として発売され、性機能の観点からも注目されている。

一方、女性では過活動膀胱に加えて骨盤底の緩みによる腹圧性尿失禁や骨盤臓器脱に伴う排尿障害も多い。女性の過活動膀胱の第一選択薬は抗ムスカリン薬であるが、 $\beta_3$ 作動薬は口内乾燥や便秘などの副作用が少ない長所も有する。このような診療の発展を鑑がみ、2013年11月に「女性下部尿路症状診療ガイドライン」が刊行された。また2015年4月に「過活動膀胱診療ガイドライン」が10年ぶりに改訂され、男女における過活動膀胱治療の最新のエビデンスが提示された。当日は排尿障害診療のポイントを中心に最新の情報を提供する。